

# 景況調査

## 第13回「県内企業景気動向調査」(概要※)

※詳細は調査レポート (<http://www.sfsi.co.jp/>) をご覧ください。

### 1. 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内景気の動向について把握するために実施した。

### 2. 調査の方法

- ・オンライン・アンケート (906社※)
- ・ヒアリング調査 (20社)

※有効回答数464社 (回答率51.2%)

### 3. オンライン・アンケートの集計方法

すべての質問項目についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は次の通り。

「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合)

- (「悪い」と回答した企業の割合)

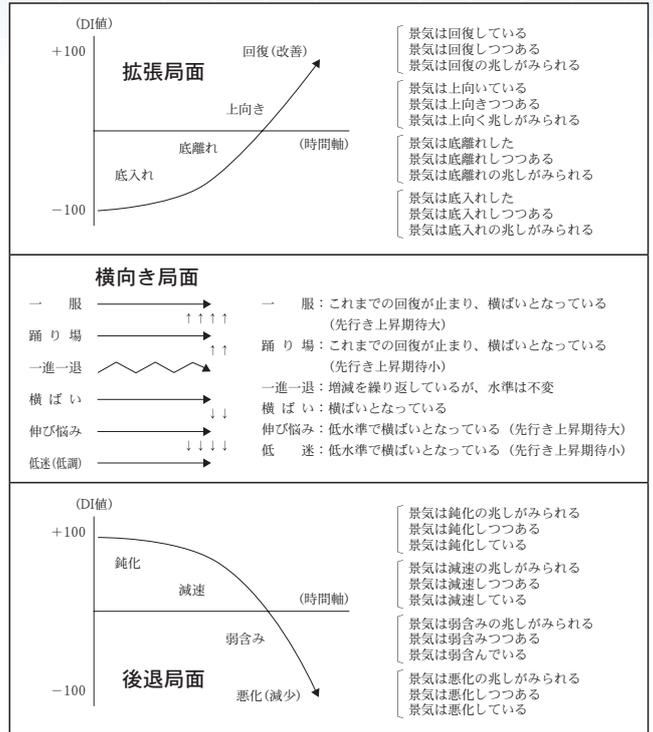
### 4. 調査期間

- ・オンライン調査：平成19年11月1日(木)～9日(金)
- ・ヒアリング調査：平成19年11月27日(火)～12月12日(水)

### 5. 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上市市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

### 6. 調凡例用語の凡例



## 景気の天気図

天気図とは、地域別・業種別の景気動向を見比べるため、自社の業況DI値 (前年同期比) を5段階に分けて図解したものの。「天気図の凡例」をご参照のこと。

### 天気図の凡例

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI ≥ 30	30 > DI ≥ 10	10 > DI ≥ 10	▲10 > DI ≥ ▲30	▲30 > DI

### (前回調査)

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
山形県					
村山南部					
村山北部					
最上					
置賜					
庄内田川					
庄内飽海					

### (今回調査)

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
山形県					
村山南部					
村山北部					
最上					
置賜					
庄内田川					
庄内飽海					

## ■ 県内企業の景気動向

### 現状判断：弱含んでいる。

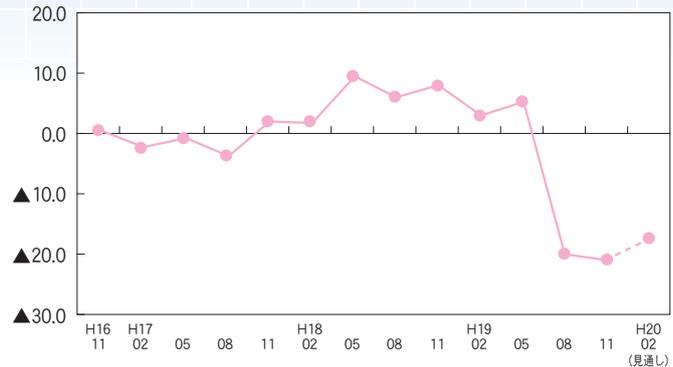
業況は、自社の業況DI値（前年同期比）が▲20.9となっており、前回より0.8ポイント低下するなど、弱含んでいる。

平成18年の末頃から売上高DI値の下落に歯止めがかからず、全体的に需要不足の傾向が拡大している。今期の売上高DI値は1.2ポイント低下して▲14.7であった。

### 来期の見通し：横ばいで推移する。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が3.4ポイント回復して▲17.5となるなど、横ばいで推移する見込み。

自社業況DI値の推移（前年同期比）



年	月	自社業況	業界業況	売上高	営業利益	人員・人手	資金繰り
H19	08	▲20.1	▲49.3	▲13.5	▲19.6	▲4.8	▲13.1
	11	▲20.9	▲54.1	▲14.7	▲21.8	6.9	▲18.6
H20	02 (見通し)	▲17.5	▲41.9	▲8.4	▲21.5	2.2	▲24.1

## ■ 業種別の動向

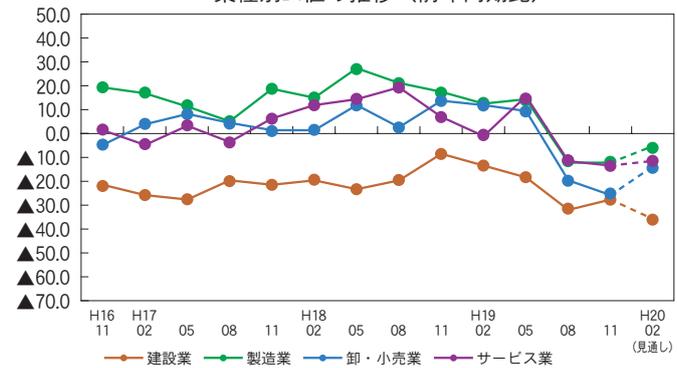
### 現状判断

業種別では、製造業でやや一服感がみられたほか、卸・小売業やサービス業の内需関連業種でも観光などの一部を除けば全体的に弱含んでいる。また、建設業では企業の設備投資をはじめ、住宅工事などの民間工事が昨年よりも振るわないと言った声も聞かれるなど、業況は低迷している。

### 来期見通し

製造業で持ち直しの兆しがみられたが、それ以外の業種ではおおむね季節変動の範囲内で回復期待感が先行しただけであった。法人・個人のいずれも需要の持続的な回復が期待できないなど、先行き見通しはやや明るい材料に欠ける。

業種別DI値の推移（前年同期比）



年	月	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H19	08	▲34.0	▲13.1	▲21.2	▲12.8
	11	▲29.3	▲13.1	▲27.5	▲14.7
H20	02 (見通し)	▲37.9	▲5.9	▲14.7	▲12.7

## ■ 地域別の動向

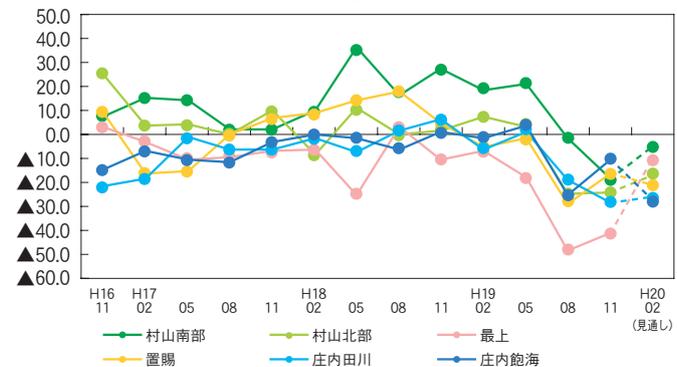
### 現状判断

地域別では、置賜と庄内飽海で持ち直しの動きがみられたが、それ以外の地域では総じて弱含みの展開となっている。また、前回より2四半期連続ですべての地域のDI値がマイナスとなるなど、全体的に力強さに欠ける展開となっている。

### 来期見通し

業況の先行き見通しは、全体的に弱含みの展開となる模様だが、村山南部、村山北部、最上、庄内田川の4地域で下げ止まりの予想となった。しかし、今期持ち直しの動きがみられた置賜と庄内飽海では再び回復期待感に乏しい展開となっており、一進一退で推移する見込み。

地域別DI値の推移（前年同期比）



年	月	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H19	08	▲1.8	▲24.6	▲48.4	▲29.1	▲19.0	▲25.0
	11	▲18.5	▲24.3	▲41.2	▲16.4	▲28.6	▲10.6
H20	02 (見通し)	▲4.3	▲16.6	▲8.9	▲20.9	▲26.2	▲27.7